

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公開番号】特開2013-49412(P2013-49412A)

【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2012-186139(P2012-186139)

【国際特許分類】

B 6 4 D	31/14	(2006.01)
F 0 2 C	7/00	(2006.01)
F 0 2 C	7/057	(2006.01)
F 0 2 C	9/00	(2006.01)
F 0 2 C	9/48	(2006.01)

【F I】

B 6 4 D	31/14	
F 0 2 C	7/00	F
F 0 2 C	7/057	
F 0 2 C	9/00	C
F 0 2 C	9/48	

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月24日(2015.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

統合航空機飛行制御システム(100)であって、

エンジン(104)に関連付けられるとともに、処理装置(106)および前記処理装置に通信可能に繋げられた記憶装置(108)を備えており、前記エンジンに関連付けられた複数のセンサ(114)からエンジン情報を受信し、受信した前記エンジン情報を用いて前記エンジンの現在の運転を制御し、エンジン作動状態情報を生成するように構成されたエンジン制御システム(102)と、

航空機に関連付けられるとともに、処理装置(121)および前記処理装置に通信可能に繋げられた記憶装置(123)を備えており、前記航空機に関連付けられた複数の航空機センサ(124)から航空機情報を、ならびに、前記航空機外部から飛行計画情報を受信し、飛行情報および目標経路情報を生成するように構成された飛行制御システム(120)と、

前記エンジン制御システムおよび前記飛行制御システムとに直に通信可能に繋げられた通信経路(122)と、

を有し、

前記通信経路は、前記エンジン制御システムから前記飛行制御システムに、生成された前記エンジン作動状態情報を伝送を促進し、

前記飛行制御システムは、前記エンジン制御システムによって生成された前記エンジン作動状態情報に基づいて、前記エンジンの運転を変更するように構成され、

前記通信経路は、前記飛行制御システムから前記エンジン制御システムに、生成された前記航空機情報をおよび前記飛行計画情報を伝送を促進し、

前記エンジン制御システムは、前記飛行制御システムによって生成された前記航空機情報および前記飛行計画情報に基づいて、前記エンジンの運転を変更するように構成された、
統合航空機飛行制御システム。

【請求項 2】

前記エンジン制御システムは、F A D E C (full authority digital engine control)を備えた、請求項1に記載の統合航空機飛行制御システム。

【請求項 3】

前記通信経路は、双方向通信経路、第1の片方向通信経路、および第2の片方向通信経路のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の統合航空機飛行制御システム。

【請求項 4】

前記エンジン制御システムおよび前記飛行制御システムの間の通信は、前記統合航空機飛行制御システム外部の命令から自立して生じる、請求項1に記載の統合航空機飛行制御システム。

【請求項 5】

前記統合航空機飛行制御システムは、前記航空機外部に配置されて前記飛行制御システムに通信可能に繋げられた別の飛行制御センタ(130)を有し、前記飛行制御センタは、前記エンジン制御システムによって生成された前記エンジン作動状態情報、ならびに、前記飛行制御システムによって生成された前記飛行情報および前記目標経路情報のうちの少なくとも一方を受信するように構成された請求項1に記載の統合航空機飛行制御システム。

【請求項 6】

前記飛行制御センタは、

前記エンジン制御システムによって生成された前記エンジン作動状態情報、ならびに、前記飛行制御システムによって生成された前記飛行情報および前記目標経路情報のうちの受信した少なくとも一方を処理し、

前記処理した情報をを利用して生成される命令およびデータのうちの少なくとも一方を前記飛行制御システムに送信する、

ように構成された、請求項5に記載の統合航空機飛行制御システム。